

よいや～の風について



——令和7年7月17日(木) No.8——校長 東原 宏章

「支えられて」

6月27日(金)、「高城台むつみ会」の皆様のご指導のもと、6年生児童による花壇への苗植えが行われました。

体育館と玄関前の広場に集まった6年生児童は、むつみ会の方から、「ポットの苗をプランターに移植する方法」についての説明を受けました。

その後、子ども達はグループに分かれ、学校周辺の花壇に苗を植えていきました。

右中央の花壇は7月14日に撮影したものです。半月ほどで随分成長しています。



6月30日(月)、本校理科室にて、「第2回放課後子ども教室」が開催されました。「七夕の飾り付け」が行われ、40名近くの児童が参加しました。折り紙を切ったり、折ったりすることから始める子供もいれば、短冊に願い事を書くことから始める子供もいました。約1時間の活動でしたが、右の画像のとおり、涼しげできらびやかな七夕飾りが完成しました。



学校でやるべきことが増え続けたことの影響でしょうか、この20年くらいの間に、「七夕」のように季節の移ろいを感じる行事が、学校現場から徐々に姿を消しているように感じています。そのような行事を地域や保護者の皆様が旗振り役となって、子ども達に経験させてくださっていることに心から感謝申し上げます。

「放課後子ども教室」は本校開校時から、地域や保護者の皆さんと学校が協力して行ってきた活動です。本年度もこの後に様々な活動が予定されています。ボランティアスタッフ随時募集中です。